

製品名: MRP-S32 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14153**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

抗原情報

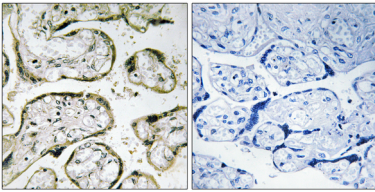
遺伝子名	MRPL42
別名	MRPL42; MRPL31; MRPS32; RPML31; HSPC204; PTD007; 39S ribosomal protein L42; mitochondrial; L42mt; MRP-L42; 28S ribosomal protein S32, mitochondrial; MRP-S32; S32mt; 39S ribosomal protein L31, mitochondrial; L31mt; MRP-L31
遺伝子 ID	28977.0
SwissProt ID	Q9Y6G3
免疫原	抗血清はヒト MRPS42 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 75-124

背景

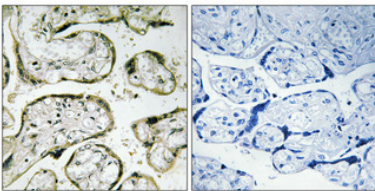
哺乳類のミトコンドリアリボソームタンパク質は核遺伝子によってコードされており、ミトコンドリア内でのタンパク質合成を助けます。ミトコンドリアリボソーム（ミトリボソーム）は、小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットで構成されています。ミトコンドリアリボソームのタンパク質と rRNA の比率は、原核生物リボソームの約 75%と推定されていますが、原核生物リボソームではこの比率が逆転しています。哺乳類のミトリボソームと原核生物リボソームのもう 1つの違いは、原核生物リボソームには 5S rRNA が含まれていることです。種によって、ミトリボソームを構成するタンパク質の配列は大きく異なり、場合によっては生化学的性質も異なるため、配列相同性による容易な認識が困難です。この遺伝子は、28S サブユニットと 39S サブユニットの両方に属すると同定されたタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。この遺伝子に対応する擬遺伝子は、染色体 4q、6p、6q、7p、および 15q 上にあります。[注意: ミトコンドリアリボソーム大サブユニットと小サブユニットに見つかっています。誤って (PubMed:11551941) MRP-S31 と分類されました。]サブユニット: ミトコンドリアリボソーム大サブユニット (39S) の構成要素で、16S rRNA と約 50 種類のタンパク質で構成されています。ミトコンドリアリボソーム小サブユニット (28S) の構成要素で、12S rRNA と約 30 種類のタンパク質で構成されています。、

研究分野

画像データ



MRPS32 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。